

第 16 回運営委員会の協議状況

日 時 平成 17 年 2 月 16 日 (火) 18:45 ~ 20:50
場 所 尼崎市女性・勤労婦人センター 視聴覚室
出席者 (委員) 松本(誠)、川谷、岡田、長峯、佐々木、中川
奥西、村岡、岡、加藤、酒井、田村
(河川管理者) 田中、西川、松本、西村
(事務局) 黒田、前川

内 容 (協議結果)

次の協議結果を次回流域委員会に報告、提案する。

1 第 4 回リバーミーティングの運営

テーマは、「下流域の課題 武庫川と私たちの暮らし」とする。
司会者は、次回運営委員会(2月24日)で選任する。

(主な意見)

- ・ テーマは、もう少し具体の施策(総合治水)にしてはどうか。
- ・ まちづくり、親水はどうか。
- ・ 会場となる西宮は、内水災害の問題もある。
- ・ 今の段階では、もう少し幅広いテーマでよいのでは。
- ・ 下流域は何に関心を持っているのか。いろいろの話が出てきてもよいのでは。間口をもう少し広げた方がよい。
- ・ 上流・下流の交流の視点も継続したい。

2 異常気象勉強会の開催

主催は、流域委員会とし、後援を兵庫県河川協会とする方向で検討を進める。
3月上旬開催で日程調整(講師依頼、会場予約等)を行う。
講演会のタイトルは、川づくり講演会「異常気象、異常降雨を考える」とする。
その他詳細は、次回運営委員会で協議し、決定する。

3 ワーキンググループの進め方

ワーキンググループの進め方等については、各グループで現在調整中の案を再度整理した上で、別途時間を設定し協議する。

上記の整理に当たっては、「武庫川の現状と課題」ワーキンググループ(主査中川)から報告のあった整理表(第13回流域委員会資料5-5)を参考にする。

(主な意見)

- ・ 整理しようとしている項目が広範囲すぎないか。河川の整備方針、整備計画にフィードバックできる課題なのか。
- ・ 課題をみてみないとわからない。とりあえず課題の抽出を行い、その上で考えたい。
- ・ 幅広く、全般にやればよいが、時間的なこともある。もう少し絞り込んだ方がよ

いのではないか。

- ・ ワーキンググループの役割がよくわからない。
- ・ ワーキンググループは、項目 B、C の検討フローを補強するために、前もって課題整理をしてもらうことが役割。B C の議論に入ってからでは間に合わないので、何を議論するのか、課題を出してもらうためにやっている。
- ・ ワーキンググループの仕事は、流域委員会をスムーズに進めるための前作業と考えている。
- ・ 流域委員会も約 1 年が経った。流域委員会でタイムスケジュールの話もあった。ある程度、現時点での整理をする必要がある。中間的な方向性等を現段階で取りまとめおかなければならない。ワーキンググループの課題整理と検討フローをクロスさせると見えてくるのではないか。